

概 要

I. 保健管理センター概要

平成 28 年度

1. 保健管理センター職員

センター長	山 岸 正 和	(併任, 附属病院副病院長 (診療・臨床教育担当))
教 授	吉 川 弘 明	(産業医・内科医)
准 教 授	足 立 由 美	(臨床心理士)
助 教	清 水 美 保	(産業医・内科医)
〃	吉 牟 田 剛	(産業医・内科医) (～平成 29 年 3 月)
〃	三 浦 佳 代 子	(臨床心理士) (平成 28 年 8 月～)
特任助教	小笠原 知 子	(SGUカウンセラー)
看 護 師	田 上 芳 美	(看護師)
保 健 師	池 田 美 智 子	(保健師)
〃	得 永 美 和	(保健師)
事 務	黒 崎 め ぐ み	(学生支援課)
〃	東 田 昌 弘	(学生支援課) (平成 28 年 4 月～)

2. 非常勤講師等

学 校 医	小 山 善 子	角間地区担当 (神経科精神科)
〃	飯 田 宗 穂	角間地区担当 (内科)
〃	川 尻 剛 照	宝町地区担当 (内科)
〃	大 畑 欣 也	宝町地区担当 (内科)
〃	戸 田 重 誠	角間地区担当 (神経科精神科)
非常勤講師	石 川 誠 子	角間地区担当 (臨床心理士)
〃	浅 田 伸 史	角間地区担当 (臨床心理士)
〃	佐 野 隆 子	角間地区担当 (臨床心理士)
〃	吉 田 安 希	角間地区担当 (臨床心理士)
〃	柴 田 英 登	角間地区担当 (臨床心理士)
技術補佐員	亀 田 真 紀	(衛生管理者・保健師) (平成 28 年 4 月～)
〃	柿 本 晴 美	(看護師)
〃	芦 原 百 合 子	(臨床検査技師)
〃	由 村 綾 子	(保健師) (平成 28 年 4 月～)

あ と が き

保健管理センター教授 吉川弘明

学生の学業の成功において、健康は欠かすことのできない重要な要素です。当センターは、学生の健康を守り、増進させるために、健康診断と学生相談に加えて、学生支援のためのプログラムを提供しているのが大きな特徴です。この学生支援プログラムには、食育、エクササイズ、ストレスマネジメント、コンサートなどの企画があり、日頃の学業や人間関係で悩みやストレスを抱えている学生たちのオアシスとなるだけでなく、すべての学生に新しい気付きを与えるものであってほしいとの配慮を施しています。また、なかなか私たちの手が届かない学生たちにも、私たちの声が届くようにとの願いが込められています。このプログラムは、SGU 特任カウンセラーの赴任により英語版も提供するようになりました。また、多言語対応のホームページの整備と、広報のための Twitter アカウントによる情報発信も開始しました。

ところで、全国の保健管理施設が加盟している学術組織である全国大学保健管理協会 (JUHA) では、2012 年より米国の同様の団体であるアメリカ大学保健協会 (ACHA) と交流を続けてきました。私が編集に関わっている JUHA の機関誌「CAMPUS HEALTH」の次号のテーマは「大学の国際化と保健管理」です。ここに ACHA の指針ともいえるべき「Framework for Comprehensive College Health」の邦訳を掲載する準備が進んでいます。その内容は、日本との違いに驚くことも多くあるのですが、その理念においては多くの日本人の共感、同意が得られるものでないかと思えます。その中の一節に、次のような記述があります。「学生のウェルネス向上が安全なキャンパスと学業の成功に結び付き、素晴らしいキャンパスは地域の発展を促す。キャンパスにおける健康管理の成功例は、コミュニティにおける健康管理の優れたモデルになる」。この考え方は、キャンパスコミュニティの一員である我々に、夢と希望を与えるものに思えるのです。

金沢大学から、未来の日本や世界で活躍する人たちが輩出されるよう、私たちが絶えず進歩していきます。

2017 年 2 月

金沢大学保健管理センター一年報・紀要
第9号（通巻43号）

平成29年3月

編集・発行：金沢大学保健管理センター

編集担当者：小笠原知子

〒920-1192 金沢市角間町

電話 076-264-5254

FAX 076-234-4044

Eメール hokekan@kenroku.kanazawa-u.ac.jp
